

大子ジュニアレスリングクラブ創設25周年記念事業  
「中国遠征」実施報告書

- 1 主 催 中国北京市レスリング協会・大子ジュニアレスリングクラブ  
2 後 援 NPO全国少年少女レスリング連盟  
大子町・大子町教育委員会・大子町レスリング協会  
北京市木須園体育运动技术学校・北京市東城区体育運学校・西城区体育運動学校・房山区体育運動学校・門頭溝区体育運動学校・朝陽区体育運動学校・豊台区体育運動学校・懷柔区体育運動学校・海淀区体育運動学校・宣武区体育運動学校・大興区体育運動学校  
3 協 賛 大塚製薬株式会社  
4 期 日 平成18年12月22日（金）～ 27日（水）5泊6日  
5 場 所 中国北京市（3体育学校）  
6 参加者 14名（選手8名・父母4名・指導者2名）  
選手：大高梨紗（小3）・菊池果古（小3）・椎名大輔（小3）・藤田隆斗（小5）・仲澤瞭（小5）・藤田和夏子（小6）・伊藤史織（中1）・谷田部菖（高1）  
父母：大高智江・菊池さと子・伊藤美恵子・谷田部節子  
指導者：藤田貴則・椎名幹夫

7 報 告

先ずは、実施にあたって懸念された事故等もなく、全員元気に無事帰国しましたことを報告します。

めったに体験できない海外との交流、ましてや共産圏であり体育学校をもつ中国との交流は、選手はもちろん指導者・父母にとっても貴重な体験となったことは言うまでもありません。

様々なカルチャーショックを受け、多くを学習した参加した選手たちは、日々の練習でそれを具現してくれ、今後の活動では今回参加できなかった選手達へも体験したことを練習で伝えてくれるでしょう。今遠征の波及効果は計り知れないものがあると思います。

中国チームは、毎年、日本の「全国少年少女レスリング選手権大会」へ出場していますので、今後も交流を図っていくことを約束してきました。

今回の事業により多くの成果が達成されましたので、下記のように報告いたします。

また、参加選手については、全員に感想文を書いてもらいましたので、別紙報告をいたします。

（1）中国教室の開催について

遠征に先立ち、多くの効果を得るために学習会を開催しました。

①中国の文化と歴史の学習会 1回開催 約2時間

②中国語の学習会 2回開催 約5時間

中国の歴史と文化については、今回が海外初体験という者も多く、予備知識を持って参加したことにより、教室の開催は有意義なものとなったことは間違いありません。

中国語については、正直5時間程度の学習では、スムーズなコミュニケーションをとることはできませんでしたが、話しのキッカケを作るのには大変役立ちました。

（2）大会結果について

大会参加選手は、北京市内体育学校から選抜された各階級6名程度が参加し開催されました。

大子の選手たち全員が勝利し、4名が優勝と想像以上の成果を上げることができました。  
中国の選手は、やはり学年が上がるほどレベルが上がるようで、練習量の違いとパワーの違いを感じました。

No.	階 級	名 前	順位
1	小学女子3年24Kg級	大高 梨紗	1位
2	小学女子3年28Kg級	菊池 果古	1位
3	小学男子3年30Kg級	椎名 大輔	1位
4	小学男子5年30Kg級	藤田 隆斗	1位
5	小学男子5年36Kg級	仲澤 瞭	4位
6	小学女子6年45Kg級	藤田和夏子	4位
7	中学女子42Kg級	伊藤 史織	3位
8	高校男子66Kg級	谷田部 菖	3位

(3) 合同練習について

合同練習は、試合をはさみ前後3日間3つの体育学校にて開催されました。

中国の選手には、粘り強さを非常に感じました。

移動時間等もあり、1回の練習時間は多いものではありませんでしたが、日中の選手が大いに交流をはかれました。

(4) 体育学校について

北京市内には10校ほどの体育学校があり、選手たちは親元を離れ、午前中は勉強、午後はレスリングの練習を週5日間します。また、中国は一人っ子政策のため、一粒種を寮へ預けるそうです。

今回3つの体育学校を訪れましたが、学校により規模等に違いはありましたが、どれも環境は整い、もちろん冷暖房完備でした。

指導者はレスリング専門のプロとして給料をもらっているそうです。

(5) 食事について

食事については、毎食、熱烈歓迎で豪華な素晴らしいものでした。北京ダックにシャブシャブ・・・

ただ、参加者の中には、独特の香辛料の味と香りがあわなかった者もいたようです。

(6) 観光について

観光は、当初、万里の長城と故宮等を予定していましたが、日程の都合で残念ながら万里のみとなってしまいました。

万里の長城は偉大で、選手たちにとっては教科書の世界が目の前ある何よりの授業となりました。

(7) 日程について

今回5泊6日の日程でしたが、2日間は移動となり、実質4日間は試合と合同練習となりました。

スケジュール的には自由時間がないややハードなものでしたが、逆に中身の濃い遠征となりました。

(8) その他

北京市レスリング協会長をはじめ各体育学校長など役員の方々は、私たちを日本代表として温かく迎えてくれました。想像以上の歓迎振りに恐縮するほどでした。大変お世話に

なりました。

今遠征にあたり、ジャケットやポカリスエットなど多くの商品を提供くださった大塚製薬株式会社様のお蔭で、プレゼントの品として使用したりと大変たすかりました。

その他、遠征画像等については、太子ジュニアレスリングクラブ公式ホームページにて、詳しく紹介していますのでご覧ください。(http://www10.plala.or.jp/D1291/)

最後になりましたが、今回このようなチャンスをくださった中国北京市レスリング協会日本事務局の岡村様や関係者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成18年12月28日

報告者

太子ジュニアレスリングクラブ

代表指導者 藤田 貴則  
(遠征団長)